

かがやく

# たいよう

## 【 がんばりました！ 4年生 】

4年生が11月14日（金）に、伊都地方小中合同音楽祭に参加しました。  
（高野口町・橋本市立産業文化会館にて）

当日は、バスで会場まで行く予定でしたが、バス会社の手配ミスでバスの学校出発が1時間30分も遅れてしまう事態となっていました。

当然到着も大幅に遅れ、児童たちは待ちくたびれたことに加え、精神的にもかなり動揺していました。到着後、準備時間もほとんどなく本番にのぞみました。

私は児童のことを考えると、日頃の練習の成果を十分に発揮できないのではないかとたいへん心配していました。

しかし、本番では何事もなかったかのように、すばらしい合奏と合唱を披露して、会場から大きな拍手をいただきました。一生懸命練習してきたことを最高の舞台上で立派に演じることができました。精神的にもたくましい4年生だなあと感心しました。中前、宮本の各担任の先生、また熱心に指導いただいた音楽科の間野先生、この音楽祭全体をお世話いただいた岡先生もたいへんがんばってくれました。

保護者の皆様も時間が遅れたにもかかわらず熱心に観覧、応援いただきましてありがとうございました。すばらしい音楽祭でした。

## 【 校門前駐停車について 】

児童の下校時に合わせたお迎えの際、校門付近に駐停車をされますと、ご近所の車の通行にご迷惑がかかります。また、事故の原因にもなりますので、他のはなれた場所に移動いただくか、駐車が長くなりそうな場合は、児童の通行に十分に気をつけていただき、学校内にてお待ちください。

よろしく、ご協力をお願いします。

## 【 橋本・橋本東保育園保護者合同研修会 】

上記会合に出席させていただきました。両保育園の保護者の皆様に約1時間子育てと教育についてお話をし、その後質疑や座談会を行いました。私は小学校に入学する前の親と子どもの関わりがたいへん重要と考えています。そのため小学校区は違いますが、少しでも橋本市の皆様のお役に立てればと思い、出席させていただきました。

この日は小学校の校長というより、二人の息子の子育てを終えた親として自分なりの経験や考え方を話しました。

保護者の皆様はそれぞれのお立場や事情で子育てに悩み、ご苦勞をされています。不安や心配がたくさんあると思いますが、子どものために真剣に考えて接していれば必ず子どもの心に通じますので自信を持つようにお伝えしました。

以下は当日お話させていただいた内容の要約です。ご参考に。

- ①子どもが「どんな時も自分は守られている。大切にされている。自分のことをいつも思ってくれている。自分は必要とされている。」と感ずることができるよう日々接すること。自己肯定感をしっかり持たせること。これにより、子どもは自信をもち、自分で考えてしっかり行動できるようになる。
- ②言ってくるよりやってみせる。周りにいる大人が輝いて、お手本を示すことが最高の教育。あんな人になりたいと思える大人が身近にいる子どもは幸福です。子どもに胸を張れる・・・そんな大人になりましょう。
- ③自分でできることは自分で考え、自分でさせる。親は見守りサポートする。  
「気にはかけるが、できるだけ手はかけない。」・・・親の「待つ」我慢が大切。
- ④「あいさつ」が大切。親がお手本を。家庭でのあいさつ。親が気持ちをこめてあいさつをしてあげましょう。たとえば・・・  
「おはよう」・・・今日も元気に目が覚めてよかったね。(生きている感謝)  
「いただきます」・・・食べもののおかげで生きていける。(食物への感謝)  
「いってらっしゃい」・・・無事に帰ってきてね。待っているからね。  
「おかえり」・・・無事に帰ってくれてうれしいよ。(あなたが大切という気持ち)  
「おやすみ」・・・今日も良い夢を見てゆっくり眠ってね。(愛しさの表現)  
親から気持ちを込めた声かけをしてもらえる子は、常に幸福や安心を感じ親を見習うでしょう。
- ⑤親が何事にもいつも感謝の気持ちを表現し、謙虚でいること。
- ⑥親が人の悪口を言わないこと。いつもそんな親を見ていると、子どもは人を否定的に見る癖がついてしまいます。
- ⑦当然ですが、家族の健康と家庭円満。規則的な生活習慣。

私自身もこの会合にお招きいただき、たくさんの保護者の皆様の本音をお聞かせいただき、ほんとうに勉強になりました。ありがたく思っています。